



葦山 平成30年度

学校経営書

葦山中学校校歌

作詩 山田 八彌
作曲 長津 義司

一

青空はるか 聳え立つ
すがたけだかき 富士の峯
流れて永久に 淀むなき
狩野の川瀬の 清らかさ

二

朝靄こむる 蛭島
雄図刻める 碑

三

夕月淡き なるたきに
いさをゆかしき 反射炉や
以ぎ共に 受けつつ学ばむ
偉人の訓 受けつつ学ばむ
飛び交ふ小鳥 松乃風
窓辺さやけき 學舎よ
敬あつく 事忍び
自由を求め 責を負う
いざともに 愛でつつ学ばむ
真理の性命

【沿革】

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 昭22：葦山村立葦山中学校創立 | 61：プール完成、パソコン教室完成 |
| 25：社会科学研究指定（県） | 平 03：心身障害児童理解推進校（国） |
| 32：保健体育研究指定（県） | 08：創立50周年記念式典 |
| 37：葦山町立葦山中学校に変更 | 11：給食施設完成 |
| 39：統計教育研究指定（国） | 16：特別支援学級新設 |
| 41：教育課程（技・家）指定（県） | 17：伊豆の国市立葦山中学校に変更 |
| 43：青雲の庭完成 | 19：体育館耐震工事 |
| 49：保健統計指定（県） | 21：新技術室・新美術室完成 |
| 50：町体育館落成 | 26：空調機改修・設置 |
| 51：校歌記念碑建立（創立30周年） | |
| 60：新校舎落成 | |

伊豆の国市立葦山中学校

〒410-2143

静岡県伊豆の国市葦山葦山393番地

TEL (055) 949-1061
FAX (055) 949-3115

1 学校の概要

(1) 職員一覧

番号	氏名	教科	備考	番号	氏名	教科	備考
1	鈴木 二三哉		校長	22	齋藤 亮	社会	3年2組
2	伊地知 昭典	社会	教頭	23	山本 梨紗	家庭	3年
3	土屋 真澄	英語	3年	24	山本 拓也	理科	1年4組
4	安井 敏博	数学	3年3組	25	鈴木 麻央	数学	1年3組
5	花村 愛子	国語	7組 特別支援CN	26	鈴木 貴晴	社会	2年4組
6	石川 聡	技術	3年学年主任	27	高橋 元	美術	2年
7	大森 豊治	理科	2年	28	山田 令子	国語	1年
8	福本 幸男	国語	2年学年主任	29	日吉 魁	理科	3年5組
9	増島 香	音楽	1年学年主任	30	渡邊 佑太	社会	1年
10	勝呂 英一	数学	2年3組 学習主任	31	村井 美咲		養護教諭
11	塩谷 英則	保体	1年 教務主任	32	高橋 駒美		事務主幹
12	秋山 弘子	国語	1年1組	33	小池 美帆		市事務
13	増田 美祐紀	国語	3年4組進路指導主事	34	森田 淳子		心の教室相談員
14	日吉 正幸	英語	1年6組不登校担当	35	阿部 久美	英語	学習支援員
15	村田 忠亮	保体	3年1組生徒指導主事	36	森松 緑		特別支援学級支援員
16	勝田 駿一	数学	2年1組特活主任	37	岩崎 桂子		図書館司書
17	松村 夏実	英語	2年5組研修主任	38	嘉納 暁子		管理栄養士
18	佐々木 千尋	保体	3年6組	39	椎野 敬子		用務員
19	川崎 茉莉奈	理科	2年2組	40	中山 洋子		スクールカウンセラー
20	原川 健三	社会	1年2組	41	山本 瑞枝		スクールソーシャルワーカー
21	芝原 晴香	英語	1年5組道徳主任	42	マリ・サト		A L T

(2) 学年・生徒数

学年	学級	男	女	計
1	6	97	81	178
2	5	83	70	153
3	6	111	94	205
特支	1	4	1	5
計	18	295	246	541

(3) 部活動

運動部		文化部
男子	女子	
野球	ソフトボール	吹奏楽
ソフトテニス	ソフトテニス	美術
卓球	卓球	総合文化
バレーボール	バレーボール	
バスケットボール	バスケットボール	
陸上競技	陸上競技	
剣道	剣道	
サッカー		

2 教育課程

(1) 授業日数 年間授業日 1年205日 2, 3年206日

1学期	入学式	4月6日	2学期	始業式	8月27日	3学期	始業式	1月7日
	始業式	4月5日		終業式	12月21日		修了式	3月20日
	終業式	7月23日			卒業式		3月20日	
授業日数	1年生73日	2・3年生74日	授業日数	81日	授業日数	51日		

(2) 教科別授業時数

学年	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	道徳	学活	総合	行事等	総授業時数
1	142	108	142	109	46	45	106	72	142	35	88	50	59	1144
2	142	108	109	142	36	35	106	72	142	35	88	70	59	1144
3	109	142	142	143	36	35	106	37	143	35	88	70	72	1158

(3) 週日課

	月	火	水	木	金
	清掃の日	生徒会の日	安全の日	部活動の日	学習の日
	登校7:20~部活自主練習~7:45 7:50までに校門通過				
8:00	出席確認 8:00 読書8:00~8:10※木チャレンジテスト				
8:30	①	①	①	①	①
9:20					
9:30	②	②	②	②	②
10:20					
10:30	③	③	③	③	③
11:20					
11:30	④	④	④	④	道徳
12:20	給食 12:20~12:50 昼休み 12:50~13:15				
13:20	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
14:10					
14:20	城池学習	学級活動	清掃 帰りの会 ~14:40	2,3年 城池学習	⑥
15:10	清掃 帰りの会 ~15:50	帰りの会 ~15:50 学年専門 中央委員会	下校 14:55	清掃 帰りの会 ~15:50	清掃 帰りの会 ~15:50
部活動	あり	あり	なし 会議	あり	あり

(4) 主な年間行事

月	行	事
4	5(木) 始業式	6(金) 入学式
	13(金) 避難訓練	
	19(木) 授業参観、PTA総会	
5	11(金) 中間テスト	
	15(火)~17(木) 3年修学旅行	
	15(火)16(水) 1年野外教室	15(火)16(水) 2年職場体験
	22(火) 生徒総会	
	25(金) 部活動参観	
6	2(土) PTA奉仕作業①	
	13(水) 22(金) 期末テスト	
	29(金) 3年生激励会	
7	17(火)18(水)19(木)20(金) 三者面談	
	23(月) 終業式	
8	18(土) PTA奉仕作業②	
	27(月) 始業式	
9	15(土) 青雲祭体育の部	
10	5(金) 青雲祭文化の部	
	12(金) 中間テスト	
	18(木) 後期生徒会選挙	
11	15(木) 授業参観、学級懇談会	
	13(火) 22(木) 期末テスト	
	27(火) 生徒総会	
12	14(金)~19(水) 三者面談	
	21(金) 終業式	
1	7(月) 始業式	
	9(水) 防災訓練	
2	6(水) 入学説明会	
	14(木) 授業参観(1・2年生)	
	15(金) 21(木) 学年末テスト	
3	12(火) 三年生を送る会	
	20(水) 修了式、卒業式	

3 グラントデザイン



学校教育目標

明日に希望を持ち今日を頑張る生徒

重点目標 かしこく考え、やさしく接し、たくましく生活する

【 4段階選択で「1、当てはまる」と回答する生徒 】

◆学校が楽しい [⇒70.0%] ◆みんなで何かをするのは楽しい [⇒70.0%]

◆授業に主体的に取り組んでいる [⇒50.0%] ◆授業がよくわかる [⇒50.0%]

【丁寧な教えてじっくり考えさせる授業を
実践する】

【他者とのかかわりの中で自尊感情を高めさ
せる生徒指導を推進する】

【健やかな心身を育み、自分の心と体をコ
ントロールできる生徒を育成する】

【家庭・地域とともに子どもを育む学校体制
を確立させる】

韮中4つの挑戦

レジリエンスを高める

道徳教育の目標 「身近な人への思いやりを持つ生徒の育成」			
A- 希望と勇氣	B- 思いやり	C- よりよい学校生活	D- よりよく生き
(4) 克己と強い意志	(6) 感謝	(15) 集団生活の充実	(22) る喜び

目指す教師の姿勢

(1) 頼もしい教職員 (2) イノベーションを求める教職員
(3) 協調性に富み同僚性の高い教職員
(4) 仕事の優先順位を決め、ワークライフバランスを実現する教職員

地域・家庭と共に

読み語り 花の会 韮中支援隊 PTA奉仕作業 PTAやまびこ学級
授業参観等 校外パトロール あいさつ運動 交通安全指導 (毎月 15 日)
制服リサイクル 青雲祭参加 PTA新聞発行 廃品回収 いちご挨拶デー

4 校内研修

葦山中学校研修構想

学校教育目標 「明日に希望を持ち、今日を頑張る生徒」
 ～かしく考え、やさしく接し、たくましく生活する～



地域との連携

研修テーマ 「生徒が主体的に学ぶ授業づくり」
 ～生徒の「なぜだろう・やってみたい」を引き出す導入の工夫～

＜仮説＞ 各教科の育てたい姿と生徒の実態を照らし合わせ、生徒の思いや学び方を見通した構想を立て、教材の提示や発問など導入に工夫した授業を展開すれば、生徒が主体的に学ぶようになり、学ぶ楽しさを感じるようになるだろう。

「仮説の検証」の視点（主体的に学ぶ姿とは）

- 1 生徒が学びたい、やってみたいと感じ、自分の思いをもって課題解決に取り組もうとする。
- 2 生徒が自分の思いを進んで表現したり仲間の思いを聞き合ったりして、まとめようとする。

地域との連携

○ ○ ○ 小中高交流研修
 市教研授業研究会
 教員研修協議会訪問

○ ○ ○ 地域教育懇談会
 授業公開と保護者評価
 読み聞かせボランティア

**学習環境の整備
学習習慣の確立**

- 自分の思いが出せる学級の雰囲気作りを基盤とし、生徒会活動や学習部との連携により、学習ルールの確立など学習環境の整備をする。
- 「予習（家庭）→授業（学校）→復習（家庭）」のサイクルの連続を可能にする学習の仕方の指導と学習の見届けをする。

**授業改善
教科部の機能強化**

- 各教科のねらい、育てたい姿の明確化を図り、生徒の学びを見通した単元構想をたてる。
- 丁寧に教えてじっくり考えさせる授業を実践する。
- OJTを活用し、教科部の機能・充実に努め、全員が積極的に授業を公開し、授業改善に努める。

**評価に対する支援の模索
特別支援教育の推進**

- 授業の中に生徒の学びに沿った形成的評価（理解状態を確認する手立て）を適切に位置づけ、わからない生徒を残したまま授業を進めない。
- 特別支援教育を推進するとともに、どの生徒にも学びを保証する観点からB基準に到達できない生徒に対する特別な支援にも配慮する。

5 校舎配置図

